

日興エドモン・ドウ・ ロスチャイルド・ ラグジュアリーファンド 【運用報告書(全体版)】

(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

第 8 期
決算日 2021年6月28日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月27日から2023年6月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド 欧州のラグジュアリー株式 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■運用は、ラグジュアリー株式への投資に強みを持つエドモン・ドウ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）が行います。 ■外貨建資産に対しては、原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 券 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比	純 資 産 総 額
		税 分 配 金 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
4 期(2017年 6 月26日)	11,882	200	51.1	0.8	97.4	3,290
5 期(2018年 6 月26日)	13,638	200	16.5	0.4	94.8	5,757
6 期(2019年 6 月26日)	12,807	200	△ 4.6	0.6	97.8	3,556
7 期(2020年 6 月26日)	10,896	200	△13.4	0.2	96.5	2,231
8 期(2021年 6 月28日)	17,148	200	59.2	0.3	100.7	8,910

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2020年 6 月26日	10,896		—	0.2	96.5
6 月末	10,856	△	0.4	0.2	95.4
7 月末	11,281		3.5	0.1	96.9
8 月末	11,764		8.0	1.0	97.8
9 月末	11,638		6.8	1.0	97.0
10 月末	11,142		2.3	1.1	97.7
11 月末	13,136		20.6	1.0	97.6
12 月末	14,064		29.1	0.9	96.7
2021年 1 月末	13,469		23.6	1.0	97.2
2 月末	14,656		34.5	0.9	97.2
3 月末	14,768		35.5	0.8	96.6
4 月末	16,165		48.4	0.7	98.9
5 月末	17,026		56.3	0.5	106.7
(期 末)					
2021年 6 月28日	17,348		59.2	0.3	100.7

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,896円
期末	17,348円 (分配金200円(税引前)込み)
騰落率	+59.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として欧州のラグジュアリー株式^{*}に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※ラグジュアリー株式とは、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式をいいます。

上昇要因

- 11月中旬以降、新型コロナウイルスワクチン開発の進展報道を受け経済活動再開への期待が高まったこと
- 対円でユーロ高が進行したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	外国株式	100.7%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	161円	1.206%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は13,330円です。
(投信会社)	(40)	(0.299)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(116)	(0.874)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	162	1.213	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

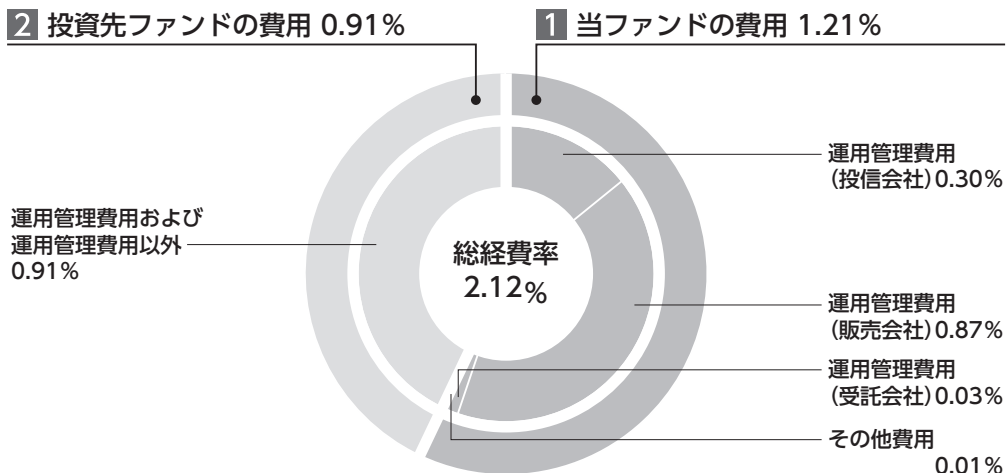
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	2.12%
1 当ファンドの費用の比率	1.21%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.91%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.12%です。

投資環境について(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

当期の欧州株式市場、およびラグジュアリー株式は上昇しました。また、ユーロは対円で上昇しました。

欧州株式市場

期初の欧州株式市場は、経済活動の再開やワクチン開発の進展などを受けて堅調に推移しました。しかし9月以降は、ユーロ圏で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、経済活動の停滞が懸念され市場は下落しました。

11月中旬以降は、ワクチン開発の進展報道を受け、経済活動再開への期待が高まり市場は大きく上昇しました。また、米国大統領選挙の結果を受けて政治的不透明感が減退したことも、市場の上昇を後押ししました。2021年5月以降は、ユーロ圏でワクチンの接種ペースが加速し、経済活動活発化への期待が高まったことから、市場はさらに続伸しました。

当期の市場の動きを欧州株式市場の代表的な指数であるユーロ・ストックス50インデックス(ユーロベース)で見ると、期首に比べて28.0%上昇しました。

ラグジュアリー株式は、景気回復およびワクチン接種の進展を背景とした観光客による購買需要の回復期待を受けて、堅調な推移となりました。

為替市場

ユーロは円に対して上昇しました。

期初から8月にかけては、ユーロ圏における行動制限の解除を受け経済活動再開への期待が高まったことからユーロ高・円安で推移しました。しかし9月以降は、ユーロ圏で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、経済活動の回復ペースが鈍化するとの警戒感から、一転ユーロ安・円高となりました。年明け以降は、ワクチン接種の加速を背景とした経済活動再開への期待を受けて、ユーロ高・円安となりました。

当期のユーロ・円は、期首120円07銭から期末132円08銭と12円01銭のユーロ高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2020年6月27日から2021年6月28日まで)

当ファンド

「ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、「ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の高位組入れを維持しました。

ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に組入れを行いました。

個別銘柄

当期はワクチン接種の進展による経済活動活発化への期待から、ラグジュアリー消費の需要増加が見込まれ、組み入れているラグジュアリー銘柄のほとんどが上昇しました。特に、傘下にグッチを持つケリング、著名なブランドを多数有するLVMHモエヘネシー・ルイヴィトン、高級鞆ブランドのエルメス・インターナショナル、高級アウトドアウェアメーカーのモンクレールの保有が大きくプラスに寄与しました。LVMHモエヘネシー・ルイヴィトンやエルメス・インターナショナルは中国などアジア地域の売上が、

ケリングはオンラインストアでの売上が伸び、株価の上昇に寄与しました。

また、前期は軟調な推移となっていたアコーやインターコンチネンタル・ホテルズ・グループなどのホテル銘柄も、ワクチン開発による観光需要の回復が期待されたことから株価が上昇し、プラス寄与となりました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年6月27日から2021年6月28日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第8期
当期分配金	200
(対基準価額比率)	(1.153%)
当期の収益	200
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7,148

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し200円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の高位組入れを維持しました。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に投資します。ポートフォリオで保有する企業は、今後も魅力的な業績成長を維持することが期待できます。イノベーションや品質、販売ネットワークの選別的な拡大などが業績の拡大を支えると見込まれることに加え、伝統や強いブランドを背景に価格決定力を持っており、世界各地での消費者の購買力の高まりから、安定した収益成長が期待できる銘柄群との考え方に変わりはありません。強固なバランスシートを持ち、株主還元積極的に企業を引き続き選好します。

マネー・オープン・マザーファンド

主として円貨建ての短期公社債および短

期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年6月27日から2021年6月28日まで)

投資信託証券

		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
国内	ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	303,985	6,294,600	48,881	795,000
合計		303,985	6,294,600	48,881	795,000

※金額は受渡し代金。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年6月27日から2021年6月28日まで)

利害関係人との取引状況

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・オープン・マザーファンド

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			B/A			D/C
公社債	百万円 51	百万円 12	% 23.5	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 21.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月27日から2021年6月28日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年6月28日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組入比率
ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	164,501	419,605	8,973,675	100.7%
合 計	164,501	419,605	8,973,675	100.7%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・オープン・マザーファンド	29,982	29,982	29,934

※マネー・オープン・マザーファンドの期末の受益権総口数は63,703千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2021年6月28日現在)

項 目	期 末
	評 価 額 比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	8,973,675 95.4%
マネー・オープン・マザーファンド	29,934 0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	398,063 4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	9,401,672 100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月28日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	9,401,672,633円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	398,062,664
投資信託受益証券(評価額)	8,973,675,930
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	29,934,039
(B) 負 債	491,514,253
未 払 金	340,000,000
未 払 収 益 分 配 金	103,920,233
未 払 解 約 金	27,530,407
未 払 信 託 報 酬	19,952,861
未 払 利 息	981
そ の 他 未 払 費 用	109,771
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	8,910,158,380
元 本	5,196,011,684
次 期 繰 越 損 益 金	3,714,146,696
(D) 受 益 権 総 口 数	5,196,011,684口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	17,148円

※当期における期首元本額2,047,719,329円、期中追加設定元本額4,312,857,853円、期中一部解約元本額1,164,565,498円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年6月27日 至2021年6月28日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 57,137円
支 払 利 息	△ 57,137
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,024,635,075
売 買 益	1,292,274,963
売 買 損	△ 267,639,888
(C) 信 託 報 酬 等	△ 34,247,289
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	990,330,649
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 174,297,374
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,002,033,654
(配 当 等 相 当 額)	(977,750,967)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,024,282,687)
(G) 計 (D + E + F)	3,818,066,929
(H) 収 益 分 配 金	△ 103,920,233
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	3,714,146,696
追 加 信 託 差 損 益 金	3,002,033,654
(配 当 等 相 当 額)	(977,761,553)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,024,272,101)
分 配 準 備 積 立 金	712,113,042

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(157,887円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(738,217,058円)、信託約款に規定される収益調整金(3,002,033,654円)および分配準備積立金(77,658,330円)より分配可能額は3,818,066,929円(1万口当たり7,348円)となり、うち103,920,233円(1万口当たり200円(税引前))を分配金額としております。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当	期

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	欧州のラグジュアリー株式
運用の基本方針	主として、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・非流動性資産への投資は、純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年6月30日
分配方針	毎年6月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。
運用管理費用	運用報酬 年0.55%程度 受託会社報酬 年0.01%程度 管理費用 年0.03%程度 保管費用 年0.04%程度 事務代行費用 年0.0625%程度 ※上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の各料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書 (2019年7月1日から2020年6月30日まで)

(表示通貨：日本円)

収益	
受取配当金	24,135,292
収益合計	<u>24,135,292</u>
費用	
投資運用報酬	14,966,938
保護預り報酬	2,034,190
管理事務代行報酬	1,697,638
受託報酬	1,621,376
専門家費用	1,472,958
印刷および広告費	1,359,611
保管報酬	1,087,399
弁護士費用	944,584
管理報酬	816,117
取引費用	478,155
金融取引税	313,263
登録費用	9,727
銀行金利	5,321
その他費用	413,601
費用合計	<u>27,220,878</u>
投資純損失	<u>(3,085,586)</u>
実現純利益/(損失)：	
外国為替	(4,793,651)
投資有価証券	(134,189,925)
投資純損失および実現損失	<u>(142,069,162)</u>
未実現利益/(損失)の純変動：	
投資有価証券	(181,320,539)
運用の結果による純資産の純減少	<u>(323,389,701)</u>
資本の変動：	
受益証券設定	103,000,000
受益証券一部解約	(1,108,000,000)
資本の純変動	<u>(1,005,000,000)</u>
期首純資産額	<u>3,508,434,782</u>
期末純資産額	<u>2,180,045,081</u>

■ 投資明細表 (2020年6月30日現在)

公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券

種類	通貨	保有数	銘柄	帳簿価額 (単位:円)	時価 (単位:円)	比率* (%)
株式	EUR	35,806	ACCOR SA	171,215,144	105,539,415	4.84
	EUR	2,422	ADIDAS AG	44,355,554	68,051,145	3.12
	EUR	3,205	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG - BMW	34,948,546	22,009,062	1.01
	EUR	19,603	BRUNELLO CUCINELLI SPA	65,083,257	62,994,508	2.89
	GBP	35,193	BURBERRY GROUP PLC	94,305,985	74,859,244	3.43
	CHF	8,505	CIE FINANCIERE RICHEMONT- REG	78,302,672	58,347,435	2.68
	GBP	36,804	DIAGEO PLC	125,831,066	131,759,132	6.04
	EUR	1,919	HERMES INTERNATIONAL	107,802,513	172,844,842	7.93
	GBP	13,936	INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	77,370,742	67,824,722	3.11
	EUR	3,000	JDE PEET'S BV	13,033,588	12,912,104	0.60
	EUR	2,327	KERING	90,058,230	136,446,782	6.26
	HKD	394,600	L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	86,013,363	71,191,209	3.27
	EUR	4,610	L'OREAL	100,663,693	158,398,175	7.27
	EUR	3,318	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	82,585,663	156,266,097	7.17
	EUR	144,416	MELIA HOTELS INTERNATIONAL	207,821,989	67,464,856	3.09
	EUR	28,743	MONCLER SPA	73,780,641	121,069,686	5.55
	CHF	10,833	NESTLE SA REGISTERED	90,295,627	128,439,405	5.89
	EUR	8,403	PERNOD RICARD SA	126,469,742	142,025,625	6.51
	HKD	175,314	PRADA SPA	77,582,920	65,548,608	3.01
	EUR	5,350	PUMA SE	38,375,617	43,892,752	2.01
	EUR	9,910	REMY COINTREAU SA	119,678,517	145,091,835	6.66
	EUR	93,623	TECHNOGYM SPA	73,463,558	82,628,637	3.79
	EUR	3,264	VOLKSWAGEN AG -PREF-	67,288,043	53,407,407	2.45
			株式合計	2,046,326,670	2,149,012,683	98.58
			公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券合計	2,046,326,670	2,149,012,683	98.58
			投資有価証券合計	2,046,326,670	2,149,012,683	98.58

(*) 百分率で表示された純資産総額に対する時価の比率

マネー・オープン・マザーファンド

第9期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入 比率	純資産 総額
	円	騰落率		
5期(2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期(2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期(2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75
8期(2020年3月2日)	9,996	△0.1	74.9	75
9期(2021年3月1日)	9,987	△0.1	75.9	72

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

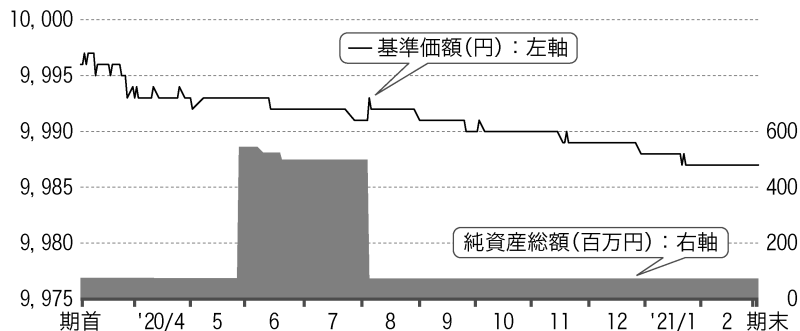
年月日	基準価額		債券組入 比率
	円	騰落率	
(期首) 2020年3月2日	9,996	—	74.9
3月末	9,993	△0.0	75.1
4月末	9,993	△0.0	75.7
5月末	9,993	△0.0	10.4
6月末	9,992	△0.0	11.3
7月末	9,991	△0.1	11.3
8月末	9,991	△0.1	76.5
9月末	9,990	△0.1	76.4
10月末	9,990	△0.1	76.4
11月末	9,989	△0.1	77.3
12月末	9,988	△0.1	76.1
2021年1月末	9,987	△0.1	76.0
2月末	9,987	△0.1	75.9
(期末) 2021年3月1日	9,987	△0.1	75.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	9,996円
期末	9,987円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。過度な国債需給の引き締めりに対し、日銀

が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりましたが、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は9,990円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 55,671	千円 — (56,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
 ※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
 ※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示 国内(邦貨建)公社債

区分	期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券 (除く金融債)	55,000 (55,000)	55,261 (55,261)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)
合計	55,000 (55,000)	55,261 (55,261)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)

※()内は非上場債で内書きです。
 ※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 ※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
 ※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示 国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期				末
		利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
特殊債券 (除く金融債)	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,030	2021/4/30	
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	14,000	14,038	2021/5/31	
	第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	14,000	14,071	2021/8/31	
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	13,000	13,120	2021/12/28	
合計		—	55,000	55,261	—	

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	55,261	75.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,517	24.1
投 資 信 託 財 産 総 額	72,778	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	72,778,985円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	17,450,185
公 社 債 (評 価 額)	55,261,080
未 収 利 息	67,720
(B) 負 債	51
未 払 利 息	51
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	72,778,934
元 本	72,873,889
次 期 繰 越 損 益 金	△ 94,955
(D) 受 益 権 総 口 数	72,873,889口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,987円

※当期における期首元本額75,182,674円、期中追加設定元本額470,329,231円、期中一部解約元本額472,638,016円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイールド債券ファンド毎月分配型 (通貨アクティブヘッジコース)	8,100,949円
メキシコ債券ファンド (毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド (資産成長型)	4,997,002円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C ・ 日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
アジア・ハイールド債券ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	29,944円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド (為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド (限定為替ヘッジ)	269,851円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05 (為替ヘッジあり)	1,759,104円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05 (為替ヘッジなし)	529,719円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09 (為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09 (為替ヘッジなし)	409,781円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	1,039,466円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12 (為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12 (為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	543,645円
受 取 利 息	630,211
支 払 利 息	△ 86,566
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△688,010
売 買 損 益	△688,010
(C) 信 託 報 酬 等	△ 11,960
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△156,325
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 28,152
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△329,231
(G) 解 約 差 損 益 金	418,753
(H) 計 (D + E + F + G)	△ 94,955
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 94,955

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。